

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター ひばり学園		公表日		令和 8 年 3 月 27 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	遊びにより2つのスペースを使い分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	書面上の配置数は適切。	分離保育では足りないと感じる時がある。数は足りていても役割分担の見直しが必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	トイレやオムツ替えの時等プライベート面を守るため視線を遮る衝立を使う。視覚支援をより積極的にしていく。	駐車場からの動線に屋根がなく雨天時は移動が大変。 学園の出入口はボタンを押して開く等の自動扉が望ましい。 保育室の蛇口から湯が出ると良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		個別で使えるのは1部屋しかないので使用時間に制限がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	主に直接支援をしている職員間では行っている。	その時間がもてない。 年間計画を策定し毎月の振り返りをそこに組み込んで改善につなげていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者とよく話すことを心掛けている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		話し合いはするが改善にはつなげていないと思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	児童発達支援センターの外部評価は受けている。	評価結果を改善につなげていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		今年度は全員が研修に出られる状況ではなかった。 園内での勉強会が必要。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	担当療法士とも共有して支援につなげている。	全員が全員の支援計画を読み返すことをしないといけないと思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	運営指導で相談のうえ独自のアセスメントを使用している。	フォーマルなアセスメントについては不足しているところがある。医師・心理士・療法士との連携を図ることを考える。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		直接支援をしている職員間で行っている。他の職員との共有はできていない。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	利用者特性の変化に合わせて工夫している。	工夫はするが固定化になりがち。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		打ち合わせはしているが確認まではしていない。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	振り返りは行っているが終了後に必ずはできず翌朝になることがある。	その時間が持てない。今後はこの打合せの記録を残していき全スタッフで共有したい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援に関して記録している。個人的にしている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	参画している。電話対応になることもある。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		職員により力量に差がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	今年度は併行通園先との連携は十分にやってきた。	今後はもっと連携していく必要がある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	1	個人的に連携をとっている。	センターとしての取組等はできていないと思う。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	3	個人的にしている。外部研修に参加している。	外部研修は受けている。専門家等の助言は受けていることはあるが体制としては整っていない。次年度は力を入れたい。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0		次年度は内容に合わせて参加する職員を決めて参加したい。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	/				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		必要と考えるができていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		研修は行っているが回数が少ない。次年度は年間計画で保護者・きょうだい支援の機会を組んでいく。家族からの希望もありセンター内でも実施すべきだと思う。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者同士やきょうだい同士の交流を目的とした機会はないが、クラス参観や行事・土曜日のイベントがその機会になるよう努めている。	きょうだいメインの機会はない。せめて勉強会等する必要がある。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	今年度インスタグラムを始めた。毎月おたよりを発行、活動等の予定を発信。合わせて行事にはお知らせを発行。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		USBの扱いについて、もう少し厳格化するとよいかと考える。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	子育てサロンを始めた。	行事に地域住民の招待はしていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	法人として各マニュアルは策定しているが周知は十分とは言えない。火災や地震の発生を想定した避難訓練は毎月実施している。	マニュアルの読み合わせ、訓練の適切な計画・実施をシステム化すべき。周知はされていない。見直しが必要だと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		内容が長年同じと思われる。計画策定は法人で作成している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		院内研修にてもう少しセンター全体で意識を高めていくとよいと思っている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	安全確保に関しては園内外での活動や避難訓練の機会に注意喚起等行っている。	周知が十分とは言えない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		共有はするようになったが、再発防止の方策まではできていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修会の録画をいつでも視聴できるようになった。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		